

可茂会後援会報

第 30 号

2022.12.26

発 行

社 会 福 祉 法 人
可 茂 会 後 援 会
可 児 市 瀬 田 1648-9
発 行 者 加 藤 政 博
TEL 0574-64-3366

可茂学園の移転にあたって

可茂会後援会会長 加藤 政博



後援会員の皆様には、日頃からご支援ご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、全国的な感染拡大から3年が経過し、利用者の感染対策に関する学園職員及び関係者の皆様、そして保護者各位のご努力、ご協力に対し感謝申し上げます。しかしながら、残念なことに12月に入り初めて感染者が多数名確認されることとなりました。

この度、学園内で感染者が確認されたことにより、学園長を始め、職員、関係者の皆さんにはこれまで以上に大変なご苦労をお掛けすることとなりました。

また、利用者、保護者の皆さんには、当面我慢の日々が続きそうですが、ご理解、ご協力を宜しく願います。

現在、私達はコロナ禍での生活で心身ともにそれなりに疲れが溜

まっていますし、一方で高齢化は着実に進んでいるのが実情です。

このような状況の中、可茂学園にとって、明るい話題、と言えば、施設の移転の目途が立ち、計画が具体化しつつあるという事です。

先日（11月26日）、移転建設事業説明会が開催されたところであり、国の動きとしては、入所型の施設の新設はしないという方針があるようですが、可茂学園は災害危険区域からの移転であるため、国も優遇して補助するという方向であるとの事です。

従って、学園の運営方法は、基本的にこれまでと同様となるようですし、今後は、可茂学園の良い部分を踏襲しつつ地域の方々との交流を図るなどの運営が検討されているようです。更に加えて、利用者、保護者の高齢化をも見据えた施設運営となるような検討をお願い出来ればと思っています。

また、移転を契機に施設が新しくなる事は、大変楽しみで喜ばしいのですが、それに伴い、生活環

境が変わる事で利用者が新体制に慣れ落ち着くまで、何かと心配な面もありますので、後援会としても、学園や保護者の皆さんと連携を図りつつ、可能な範囲での支援をして行きたいと思っています。

なお、具体的には、建設委員会で検討されるとの事です、節目々での保護者との意見交換やフィードバックを学園にお願いをしています。

令和4年度の後援会活動につきましては、過去2年間同様、殆どの事業が中止となり、学園への支援やチャリティー活動などが十分出来ませんでした。

つきましては、今年も関係役員の方とご相談させて頂き、11月に麦の丘及び三ツ池ホームへ電気洗濯機を各1台寄贈致しましたのでご報告をさせて頂きます。

来年こそは、会員皆様のお顔を拝見しながら、必要な情報共有、意見交換が出来るようになればと願っています。

最後に、会員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

以上

花と緑とからくり時計の 可茂学園

「地域共生社会を目指して」

施設長 山口 和己



可茂会後援
会員の皆様
におかれま
しては、法人
が運営をいた
しております可

茂学園、麦の丘、三ツ池ホームの
事業運営に対し、また、可茂会後
援会に対しまして多大なるご理解
とご支援を賜り、心より厚くお礼
申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大
が社会全体に大きな制約を強いて
おり、例外なく私どもの法人の事
業にも、また、後援会の活動にも
大きな負荷となっております。折
しもクラスターを生じさせる事態
に陥り、この收拾を第一に一層の
感染防止対策に注意を払い、来る
アフターコロナを見据えたいと考
えます。

さて、障害者総合支援法の基本
理念には、「身近な場所で日常生
活や社会生活を送るための支援を
受けられることにより社会参加の
機会が保証されること」、「「どこで、

どのように暮らすのかについての
選択の機会を確保すること」が謳
われていますが、この基本理念と
実態には未だ大きな乖離があるこ
とは否めません。まだまだ、身近
な地域と離れたところで暮らして
いる多くの方がお見えなのが現実
です。そして、こうした実態が、
国に「入所施設の新設は原則認め
ない」とか、「グループホームの推
奨」を言わせているのでしょうか。
平成3年4月に開学した本可茂
学園も、当時、立地においては多
大な苦勞を強いられたとお聞きし
ております。現在の場所で落ち着
いたものの、結局、身近な地域か
ら離れた山間に追いやられたので
はないかと私は思っています。
また、一方でこうした国の方針
に乗じるかのように、障害福祉サー
ビスの実績がない事業者の参入が
多く見受けられ、利益を上げるこ
とを目的に参入し、利用者の障害
特性を踏まえた適切な支援を提供
していない事業者が増加し、支援
の質が低下してしまうのではない

かという懸念も生じております。
障害者支援施設は、これまで第
一種社会福祉事業として自治体ま
たは社会福祉法人という公益性の
高い主体が運営してきた経緯があ
り、当可茂学園もこれまでの実績
も踏まえ、ある程度は社会からの信
用を得たと自負をしております。
また、障がい者の皆さんが地域
で安心して生活できるようにする
ために各種の相談支援、緊急時の
短期受入等を提供する地域生活支
援拠点等整備事業が岐阜県や市町
村において進められ、本可茂学園
も今年度より緊急時の短期受入を
担う中濃地域生活支援拠点施設と
して県及び中濃圏域内の市町村よ
り認可をいただいたところです。
このたび、土砂災害危険特別区
域及び同危険区域に指定されてい
る現在の場所から安全が確保され
ている居住地域への移転を計画し、
用地の取得交渉を終え、建築設計
の内容について精査を行っている
ところであります。創立30年余を
経て移転により新施設となるこの
機に、地域における共生社会の
実現に一層貢献できますよう、ス
タッフ一同精進してまいりたいと
考えております。

■ 資源回収売上実績

令和4年12月1日現在
(単位：円)

実施日	1月26日	4月25日	8月2日	合 計
売 上	5,620	5,250	6,600	17,470
可児市奨励金		2,109	2,651	4,760
合 計	5,620	7,359	9,251	22,230

【回収品目】 アルミ缶、段ボール、新聞紙、雑誌
※スチール缶、ペットボトル、ビンは回収していません。

資源回収は、皆様のご協力をいた
だき実施しております。
引き続き、よろしく願います。

資源回収報告

可茂学園移転建設事業の保護者説明会が開催されました

近年、毎年のように全国各地で甚大な自然災害が起きています。土砂災害（特別）警戒区域に指定されている可茂学園では、施設利用者が安全に安心して生活が送れるように危険区域から区域外への施設移転計画が進められています。11月26日には保護者への説明会が行われました。



（説明会の様子）

環境整備（草刈り）をしました

後援会の業務委託で、川辺町シルバー人材センターの皆さんに斜面の草刈りを年3回行っていただきました。



（令和4年10月6日撮影）

もちつき

今年も新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して利用者と職員で行われました。



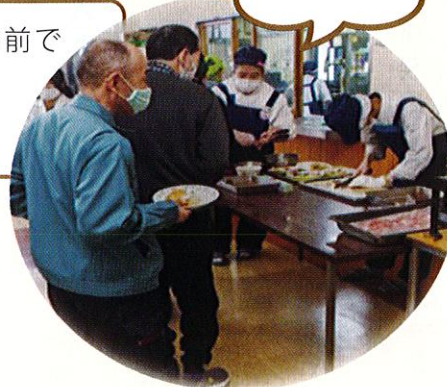
つきたてのお餅は「ぜんざい」にして食べました。



11月29日は「いい肉の日」



利用者さんの目の前でステーキの実演が行われました。



収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 費	1,610,000	1,496,000	-114,000	
特 別 会 員	150,000	120,000	-30,000	30,000円×4口
正 会 員	1,200,000	1,130,000	-70,000	10,000円×113口
育 成 会 員	180,000	168,000	-12,000	3,000円×56口
賛 助 会 員	80,000	78,000	-2,000	1,000円×78口
2. 雑 収 入	25,295	21,079	-4,216	
バザー収入	0	0	0	バザーの売上等
資 源 回 収	20,000	14,930	-5,070	アルミ缶等回収
奨 励 金	5,000	5,840	840	可児市より補助金
預金利息等	295	309	14	利息、定期端数
3. 前期繰越金	335,705	335,705	0	
合 計	1,971,000	1,852,784	-118,216	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 議 費	10,000	6,898	-3,102	弁当代等
2. 事 務 費	526,000	407,330	-118,670	
通 信 費	6,000	8,792	2,792	切手代
印刷製本費	110,000	102,410	-7,590	会報印刷代
事務消耗品費	10,000	1,568	-8,432	コピー用紙
施設整備費	350,000	294,360	-55,640	草刈り業務委託
雑 費	50,000	200	-49,800	収入印紙
3. 振込手数料	3,000	3,347	347	郵便振替手数料
4. 積 立 金	1,432,000	1,100,000	-332,000	施設整備積立金
5. 次期繰越	0	335,209	335,209	
合 計	1,971,000	1,852,784	-118,216	

収入総額 1,852,784円

支出総額 1,517,575円

収支差額 335,209円(次期繰越)

令和三年度 社会福祉法人可茂会後援会決算書

監査報告書

令和3年度の可茂後援会決算について監査の結果、その収支は正確に処理され、また証拠書類も整備されています。

よって適正であることを認め報告いたします。

令和4年4月1日

監事

前島宗直

社会福祉法人可茂会後援会
会長 加藤 政博 殿

梅口孝子

特別会計報告書 施設整備積立金

(単位：円)

	収入	支出	残高
平成28年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		9,702,000
平成29年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		10,702,000
平成30年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		11,702,000
可茂学園テレビ2台寄付(令和2.2.10)		440,000	11,262,000
令和元年度積立金(郵便局定額預金)	1,000,000		12,262,000
可茂学園テレビ1台寄付(令和2.11.27)		100,000	12,162,000
令和2年度積立金(めぐみの農協)	1,000,000		13,162,000
可茂学園殺菌灯付除菌スリッパロッカー1台寄付(令和3.11.1)		240,000	12,922,000
令和3年度積立金(めぐみの農協)	1,100,000		14,022,000

可茂会後援会にご加入を
年間会費
特別会員 三万円
正会員 一万円
育成会員 三千円
賛助会員 一千円
可茂学園施設整備資金確保のために、新会員
のご加入をお勧めください。

可茂会後援会事務局
TEL 六四一三三六六



会長 加藤 政博
副会長 安江 剛生
理事 加藤 敏明
理事 加藤 高史
理事 道家 義昭
理事 伊賀 光邦
会計 柴畑 直喜
監事 前島 宗直
監事 梅田 實美
事務局 川合 哲也
事務局 伊藤 克人

令和四年度 可茂会 後援会役員

令和四年度

後援会員名簿

＝敬称略＝

◆特別会員

〔二〇〕 吉田整備(株)

エース薬局広見店

(株)三宅設計

広和自動車(株)

◆正会員

〔三〇〕 長瀬 邦夫

加藤 政博

〔二〇〕 山本 孝盛

揖斐 好久

宮川 春子

〔二〇〕

前島 宗直

村瀬 正樹

(有)フェニックス

ミスノ観光(株)

小境電気工事(株)

(有)中部プロパン瓦斯商会

(株)新興設備

(株)ジエイアイシーセントラル岐阜

(株)濃飛葬祭

岐阜防災(株)

千賀石油(株)

中部事務機(株)

菅井 省二

藤村 恒行

宇野 剛由

小川 裕一

可児 薫

堀井 幸一

後藤 邦久

高木 武典

一瀬 節江

森 鉄雄

山田十九夫

藤野 和彦

柴畑 直喜

斉藤 道夫

近藤 善守

伊賀 光邦

狩川 正光

安江 公男

山岡 郁穂

小島 孝三

前田千賀子

◆育成会員

〔二〇〕

〔二〇〕

加藤 孝子

堀田 泰史

川村 雅哉

山田多美恵

奥田 智恵

藤野三津子

柴畑 澄子

柴畑 靖紀

柴畑千代美

斉藤みはる

加藤あゆみ

加藤 幸子

長尾 和子

谷口 里子

遠藤八重子

佐々美佐子

鈴木かなえ

山田 輝世

河合 清子

石坂 紀子

渡辺 浩英

堀井 泰弘

亀貝 進

加藤 敏明

曾我 巨樹

畑尻 都

竹原 利枝

半澤 卓男

山田 順子

長瀬 洋子

市川 尚幸

加藤 紀子

宮口 信久

余語 潤一

山口 優子

白村味紀子

小椋 竜也

酒向 清治

高木 洋一

古田 和子

鍵谷美智代

安江 剛生

梅田 實美

加藤 高史

和田 朝子

日比野恭治

白川 彰美

宮川加代子

玉井 伸二

小川 和正

浅野真奈己

山内 千司

吉田 健治

和 下 開

千葉 進

四之宮賢治

鈴木 正隆

加藤美根子

秋元 進

河合 進

上田 重博

谷口 義晴

大崎 俊昭

道家 義昭

佐々 立夫

寶亀 久代

小川 和則

高村 峰子

荻山百合子

中原 健二

藤田 秀子

中西 敦子

菅谷 ゆか

柘植 和廣

石原 福美

朝日 誠一

河合 透

眞鍋 泰司

可児 幸子

渡辺須磨子

堀 智子

花井 一彦

吉田 昌義

松居 貴子

山口 和己

鈴木 広行

小栗 意夫

伊藤 克人

加藤 拓男

瀨瀬 久也

伊藤 博人

和田 雄樹

川合 哲也

高橋 将也

原 和也

加納 学

山口 遼

井戸 駿介

平林 耕生

丸山 雅

平林なつみ

松原 裕子

金城里佳子

永井 香帆

小嶋ゆうこ

兼子 雅代

前島恵津子

安田有里菜

山口祐実奈

平手 志歩

中村なのは

川合圭伊子

塩谷 志保

武藤 行子

尾関 友香

千田優之介

松村 知樹

太田真由美

加藤ほのか

石橋 陽奈

長谷川侑香

小島九十男

杉山 洋志

古田 益郎

大嶋 久興

大野起代子

大野 率子

伊藤 正和

大前 貞子

井藤三千子

長瀬 修一

長瀬 寿

向井 信

石原佐喜夫

原科 久子

中根 義典

山本 信男

長瀬 京子

古田 敬子

渡辺美知夫

奥村ひろみ

加藤 裕子

石原 洋子

佐藤しずか

水野 信子

脇田 純子

熊谷 恵子

宮原 香代

杉本 富夫

石原すみえ

泉濱 已織

柴田 美雪

山本美智子

安藤 節子

可児 伸子

梅村 夏子

粕谷美和子

渡辺 日鶴

鈴木 純子

渡邊 愛里

田中真由美

麦島真由美

濱田 令子

渡辺 美幸

(令和四年十二月一日現在)



「麦の丘」と「三ツ池ホーム」に 洗濯機を寄贈しました



「麦の丘」と「三ツ池ホーム」にそれぞれ設置してある洗濯機が老朽化し、故障続きで思うように洗濯ができないことから、後援会で洗濯機を1台ずつ寄贈しました。



利用者の声

スムーズに洗濯でき、衣類も気分もすっきり!!
ありがとうございました。



麦の丘（カフェ＆ベーカリー）



三ツ池ホーム（グループホーム）